

「障害者問題全国交流会in愛媛」

理事長 川崎 壽洋

10月22日・23日の2日間わたって、松山全日空ホテルで「障害者問題全国交流会in愛媛」が開催されました。これは中小企業家同友会全国協議会が2年に1度開催しているイベントで、中四国で開催されたのは初めてのことでした。「共に学び、共に働き、共に暮らす地域を創る！」というテーマが掲げられ、ほやけんが「ぼろぼろ」のキャッチフレーズのもと、全国から松山にお越しいただいた経営者の方々や福祉サービス事業所の方、特別支援学校の先生方などとの交流を通じて、良い学びの機会となりました。

私は第3分科会に参加したのですが、広島県の福山市で特別支援学校と企業、障害者就業・生活支援センター、障害者職業センターなどの関連機関が連携しながら生徒さんを就職に結びつけ、職場定着への支援までを行っている取り組みが紹介されたのですが、まだまだ企業さんも含めて、地域の人に「障がいがある人が働く」ということがイメージできていなくて、それが一番の壁になっているというのを改めて認識させられました。知らないがために「障がい者ってなんだか良くわからないから関わるのが怖い」とか、「障がい者なんだから働かなくて良い」とか思っている人も多いのではないかと思います。「障がい者といっても、普通の人とそんなに変わらないじゃん」「特別扱いせず普通に接したら良い」「障がいがあっても、このような配慮をすれば普通に働くことができる」といったことを知ってもらえば、障がい者雇用はもっと進むと思います。

特別分科会では「共に暮らす東・南海トラフ地震に備える」というテーマで東日本大震災で被災された方に講演をしていただいた後、ワークショップも行われ、ふうしすてむのA型事業所で働いている利用者さん4名も参加して、災害が起こった時にどのような課題があるのか、どう行動すれば良いのかや、どのような支援が必要か、また普段からどのような備えや準備をしておけば良いのかなどについて、活発な意見交換ができたようです。

今回の障害者問題全国交流会には、ふうしすてむのスタッフ2名も実行委員として参加させていただいたのですが、実行委員長の北野賢三さんをはじめ、実行委員のみなさんのおかげで、とても良い交流会になったと思います。大変お疲れさまでした。これを機に愛媛県での障がい者雇用が進めば良いと思います。

人生の応援歌

副理事長 村上正人

Buの活動から離れて、思い出の曲として「人生の応援歌」を紹介させていただきます。

さだまさしの「関白失脚」という歌をご存知でしょうか。「関白宣言」の方ではありません。出だしは、全くのコミックソング的な物ですが、途中でしんみり、最後に元気をもらえる歌です。時々聞いて、笑い・泣き・元気をもらう人生の応援歌です。

何気なく昔のCDをかけていて「がんばれ」が聞こえてきたのは、リハビリに疲れた頃でした。度重なる、病気・入院・手術・リハビリ、まさに「思いどおりに生きられない」毎日でした。でも、「俺は生きている」ので、「下手くそでも一所懸命」に人生に向き合わなければなりません。

今まで支えてくれた人、これからもお世話になるであろう人に「君たちの幸せの為に死んでもいいと誓ったんだ それだけは疑ってくれるな 心は本当なんだよ」と、言えるようになりたいと思いました。

悔いの残らぬように「みんな」、出来る範囲で「がんばれ」と自分を応援してください。

そして、「俺には俺の幸せ」を見つけてください。

さださんのコンサートでのトーク(歌よりこれを楽しみに行ってました)で心に残っているお話を。

「元気と勇気は、使えば使うほど増えていく」

人生を階段に例えるなら、一段目の階段(何かを始める・挑戦する)を上がるには勇気が必要です。勇気をだして踏み出せたなら、次に続く階段は少なめの勇気ですみ、勇気がたまります。

逆に、一度躊躇してしまうと、二度目の挑戦の時には、一度目より沢山の勇気が必要になります。「使わなければ、しぼんでしまう」と言うことです。

赤ちゃんは、小さな両の手に、この「元気と勇気」を握りしめて生まれて来るそうです。

「あなたの「応援歌」を教えてください」に届いた声です

W:『昔(10年ほど前まで)は友達とさだまさしのコンサートによく行っていました。さださんのおしゃべりと歌に癒され、その後友達との食事でも癒され…楽しいひと時を過ごしていたのを思い出しました。私は「関白宣言」「関白失格」も好きですが、「風に立つライオン」がとても好きで、何度聞いても涙が出て、曲の主人公の医師の生き方に感動しました。私の「応援歌」か、どうかはわかりませんが、本当に人生は自分の思い通りには生きられませんね。でも、皆に助けられ今の自分が生きていられる事に感謝しようと心に誓う今日この頃です。

K: Uruさんの「糸」を聞いたら何度も涙がでできます。中島みゆきさんの「糸」のカバーです。いろんな方がカバーしていますが、私はこの人の声の「糸」が大好きです。

T: できっこないを やらなくちゃ / サンボマスター
足音 Be Strong/Mr.Children

参考 URL

うたまっぷ.com

『関白失脚』:

<http://www.utamap.com/showkasi.php?surl=34824>

『小さな手』:

<http://www.utamap.com/showkasi.php?surl=B00311>

YouTube

年の初めはさだまさし「関白失脚」:

<https://www.youtube.com/watch?v=8LFMbQrpvuU>

職員紹介

高石 重邦

南予、大洲の長浜出身です。美味しいものを沢山食べて、たいへん、ふくよかに育ちました。

私の性格は、真面目ですが、少々早とちりな所があり、物事を早合点して判断してしまうことがあります。

穏やかな気質なのと、思っていることを口に出すタイミングが遅い為、怒るタイミングを逃すことが多いです

また、新しいものが好きで、家電やカップ麺、お菓子等の新商品などはついつい、手にとってしまいます。期間限定って言葉には惹かれますね。

これから皆さんと楽しく過ごせるよう一所懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

藤原 建二

八月から職員の一人としてスタッフに加えていただきました藤原です。

木屋町の事務所は自宅からも近く、毎日自転車で通勤しています。

「多趣味は無趣味」の典型で何にでもすぐハマってしまうため、何かゴソゴソやっている和家人からは「また始まった」という感じで、いつもあきれ(あきらめ?)られています。

パソコンも最初は趣味だったのですが、いつのまにか本業になってしまい、ソフトウェア関連の仕事で20年近く続けてきました。と言っても無駄に長く続けていただけなので、大した技術を持っているわけではありません(笑)。ともあれ「こんな自分でも何かの役に立つかもしれない」という想いでがんばってまいります。どうぞよろしくお願い致します。



特定非営利活動法人 ふうしすてむ 事務局

〒790-0821
愛媛県松山市木屋町3丁目12-7
TEL 089-923-5002 FAX 089-923-5020
<http://www.bsystem.jp/>
staff@bssystem.jp

砥部事務所

愛媛県伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400



パソコンボランティア募集

会員にパソコンの面白さや操作方法をつたえる

『パソコンボランティア』を募っています。

経験のある方は、知識や技術を、

パソコンの苦手な方は、笑顔をお分けください。



冷蔵庫の残り物で **一品** Let's start cooking by Aya



- 材料(1人分)**
- ・よくある安い焼きそば麺 …………… 1袋
 - ・冷蔵庫にある野菜 …………… キャベツ、ニンジン、もやしetc
 - ・冷蔵庫(冷凍庫)にある肉や魚介類 …………… 豚肉・ハム、エビ・イカetc
 - ・きのこ類
 - ・ごま油 …………… 少々
 - ◆ウェイパー …………… 少々
 - ◆水 …………… 100ml
 - (なければ鶏がらスープの素)
 - ◆お好みでチューブ生姜 …… 2cm位
 - ◆醤油 …………… 大さじ2
 - ◆お好みで塩・こしょう …… 少々
 - ◆砂糖 …………… 大さじ1
 - ★片栗粉 …………… 小さじ1
 - ★水 …………… 30cc位

作り方

焼きそば麺

袋から出し、中火のフライパンに入れ、麺をほぐし両面こんがり焼き目がつくまで焼きます。たまに様子を見ながら、ほったらかしで大丈夫です。



中華丼

あんかけ

1. 野菜・肉ものを一口大にきっておきます。(カット野菜や豚こまとか使ったら楽ちんです。)
2. ★を混ぜておく。
3. フライパンにごま油をひき中火。
 - ①の肉や魚介を炒めます。火が通ってきたら、野菜も炒めます。
4. ③がある程度炒まったら、◆を全て加えふたをして蒸し状態にします。(ふたが無ければ、アルミホイルで代用)
 - ※甘目の味付けです。苦手な方は量を調節して下さい。
5. ④がクタツとしてきたら、火を止めて溶いておいた★を回し入れる。
6. 麺がパリッと焼き目がついたら、お皿に移して、上から⑤をかけて出来上がり。ご飯にかければ中華丼になります♪
 - ※補足：麺は、レンジでチンでもいけます。

(これは、厚揚げが入ってます) 冷蔵庫の残り物を入れます。 給料日前のお助けメニューですwww 是非、お試しあれ♪

『旅』

「津軽三味線」、最近吉田兄弟に人気があるらしい。私たち老境の者にはなんとと言っても盲目の高橋竹山です。民謡の伴奏から始まり家の玄関で弾いてお金や食料をもらう「門付け」、それらの事をテレビのドキュメンタリー番組で知りました。青森で竹山の跡継ぎの人の津軽弁での話と演奏を聴きました。CDですが「津軽じょんがら」を聞くと北島三郎の「風雪流れ旅」の情景を思い浮かべます。

映画の「深夜食堂」を見ました。越後・筒石・親知らずと言う言葉がありました。昨日のテレビにもこの地名が出ました。JRとバスで通った事があります。

各駅停車で見た夕日がきれいな場所でした。水上勉に同じ名前の本があります、暗くて読むのが辛くなります。何時かゆっくりとフォッサマグナの糸魚川と親不知へ行ってみたいと思っています。

時代の移り変わりとそれに翻弄された人々の生活、それらを偲ぶのにその場所へ行きます。福島県郡山安積干拓地、炭鉱のいわき市、水戸と敦賀市、米原市番場の蓮華寺、そして瀬戸内や滋賀の古い港。

吉田兄弟の三味線はジャズセッションの様だと言われていますが、時と共に変わるのは音楽だけではありません。経済も景色も人の心も、ある意味移るから美しいのかも知れません。一人の旅は距離と共に寂しさが増します。そして不便な旅ほどゆったりとした時間がとれます。それは自分を見つめ直すには良い時間になります。

この景色はあの人が見たら喜ぶ、この料理はきっとあの人が好きだろうとか。そうです、沈む夕陽を見ながら一緒に見たいと思った人はきっと貴方の大切な人です。

長くこの旅の欄を見て頂き有り難うございました。いつかこの欄で皆様の旅の思い出を見せて頂きたいと思います。

(紅い八月)

編集後記

今年も早、残り一ヶ月を残すばかりとなりました。「つむぐ」12月号無事編集できたことうれしく思います。号を増すごとにいろんな人に投降して頂きみんなの「つむぐ」が出来上がりました。今後もぶうしすてむの機関誌として皆さんに楽しんでいただける紙面にしたいと思います。

『忘れ得ぬ人たち』

ぶうしすてむが就労に向けて動き始めてまもなく12年が過ぎます。その間に会い、しかしもうお会いする事が叶わない人達が居ます。

A型が始まる前の事です。その人の葬儀が終わりしばらくして奥さんから、「主人はぶうしすてむに参加して亡くなるまでの間、本当に生き生きして仕事に出て行ったとお礼を言われました。また、砥部の事務所をお世話になっている方のご主人は、眼がだんだん悪くなってモニターに顔が触るほど近づけて懸命に研修を受けている姿を思い出します。小さいお子さんをお持ちでした、まじめな人柄が思い出されます。

難病の為高校を在宅のままで卒業し、両親の仕事のホームページを作成し父母を手伝いたいと話していました。スカイプと遠隔研修でホームページは完成し最初の年の注文を受けて逝かれました。20歳になっていませんでした。

車いすの20代の青年は、受講の為遠くから自力で毎日休まず来ていました。研修が終わった後しばらくして亡くなった事を知りました。

4人のお子さんをお持ちの優しいお父さんは難病でした。明るくて誠実な人でした。私どもの営業をお願いしようと思っておりましたが、病状が進みました。若い女性は重度の心臓疾患でした。ボランティアの活動を手伝って頂きました。入退院の繰り返しでしたが体の調子が良いと、私どもの事を心配して電話をくれました。このお二人は数年前に連絡がとれました。

皆様それぞれが自らの時間を懸命に生きておられました。忘れる事はありません、有り難うございました。

灯を点し 滲む名簿に秋深み

理事 二神重則

【近詠五句】

スロープや 金木犀の 初匂ひ
子規の國 浮雲数へ 秋うらゝ
紺碧の空 遠ざかる秋まつり

花桔梗 庭に孤高の 色を咲く
それぞれの "痛み"の業や 冬近き
重川洋一@松前町

平成27年度年賀寄附金助成事業

障がい者とひきこもり者対象 西予パソコン講習会

期間 基礎コース・実務コース 平成27年7月2日～11月19日

受講生の感想 (原文のまま)

★基礎コース

- ・わかりやすくパソコンをおしえてもらったのですごくたのしくやることができました。(男性・30代)
- ・パソコンきょうしつ しごとにかしたいです。(男性・20代)

★実務コース

- ・今日が最後ということで少し寂しい気持ちになりますが、ですがとても楽しかったです。(男性・20代)
- ・難しいことを色々覚えて、嬉しかったです。ありがとうございました。(女性・60代)
- ・楽しく学べました。ありがとうございました。(女性・30代)
- ・パソコンを学べて本当によかったです。(男性・30代)
- ・高校時代より衰えていましたが楽しく学べました。表計算も少し教わってよかったです。ワープロ検定頑張ります。ありがとうございました。(男性・30代)
- ・短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございました。(男性・10代)

講師の感想

- ・今回7月～11月まで計6回、西予市で実務コースの講師をメインで試してみたい感じたりしたことは、サポートの方がよく動いてくれたのでペースを変えずに講習を行えたこと、私が問かけるとうなずくなり何かしらの反応をしてくれたりという点で自分が仕事の中等で学んだスキル等を人に教えるという難しさを実感しました。なので、今回の講習会の中で少し準備不足ということもありましたが、これをきっかけにして多くの方々に自分の知っているスキル等を教えることが出来たらいなと思いました。(女性・20代)
- ・未熟な自分が教えた内容を少しでも役に立ててくれたのならそれで満足です。(男性・20代)
- ・教える側としては力不足でしたが、数少ない時間をみんなと楽しくパソコンが出来て嬉しいです。来ていただいた方、ねっとworkジョイさんありがとうございました。(男性・20代)

この度の講習は、特定非営利活動法人ぶうしすてむの理念に則り、障がい者・ひきこもりの方がパソコンを通じて、社会参加をするための「第一歩」をサポートする助成金事業でした。PC講習会6回・就労の為のセミナー2回を実施しました。この講習が、今後何らかの形で受講生の皆様のお役にたてることを願って西予パソコン講習会は終了とさせていただきます。

最後になりましたが、今回の講習にあたりご協力頂きました障がい者就業・生活支援センターねっとworkジョイ様に感謝申し上げます。

担当 河端